

情報誌「Academi-Q (アカデミック)」の創刊と県内の小・中・高等学校等への教育支援について

本学は、平成27年3月に策定した『明日の大学ビジョン2015』において、「地域の基幹総合大学として、さらなる教育・研究の発展・充実を目指しつつ、地域に根ざした社会連携を進めていく。」としており、大学が有する教育や研究の成果の還元を通じた地域貢献に積極的に取り組んでいるところです。

未来社会の発展とそれを支える人材の育成を推進する上で、大学には多面的な存在価値があります。最先端の研究や学問の面白さを児童・生徒の皆さんに継続的に伝えていくことで、知的好奇心の喚起や学習意欲の向上を図り、優れた人材の育成の一助になることを期待し、平成30年度から情報誌「Academi-Q(アカデミック)」を発行することとしました。

「Academi-Q」は、県内の全教育委員会および小・中・高等学校等の協力を得て、創刊号(2018. 4)を4月下旬から、県内の学校を通じて各ご家庭に配布予定です。

また、山口県(県内市町)においては、若年層人口の県外流出が大きな課題となっており、高等教育機関である本学は、地方自治体や教育機関と連携して、地方創生の鍵となる人材育成と県内定着を加速させて行くことが期待されています。高大接続に資する取り組みのひとつとして、県内の大学進学率の向上も期待されます。

なお国立大学が15万部もの情報誌を発行して地域の初等・中等教育を支援する試みは、おそらく全国でも初めてです。歴史的に教育に力を入れてきた山口県ならではの試みと言えるでしょう。

【情報誌Academi-Qについて】

(編集方針)

- ・学問の魅力や面白さを読者の目線で選定・制作します。
- ・配布先である学校やご家庭にとって意義あるものを目指します。
- ・高等教育における多様な学問分野の特徴・魅力を伝えます。
- ・ライターによるわかりやすい記事を掲載します。
- ・大学生ライターも起用し、若手ライターの育成を図ります。

(形式)

タブロイド判、二つ折り、4ページ

(発行時期)

平成30年度は4月、7月、11月予定

(配布方法)

児童・生徒数に応じて学校別に仕分けした情報誌を、小・中・高等学校等へお届けします。公立学校については、山口県教育委員会及び13市6町の教育委員会から各学校への送達便の御支援をいただきます。

(発行部数等)

15万部 (ISSN2434-0170)

情報誌「Academi-Q (アカデミック)」は、学術 (Academic) の不思議 (Question) が高品質 (Quality) で、すぐに (Quick) 分かることを目指して名付けました。大学で行われている研究成果などの社会還元や地域との連携推進に主眼を置くため、山口大学広報誌ではなく情報誌としています。

「Academi-Q」では、おもしろい研究や最先端の研究をライターが取材し、読者の立場から分かりやすく解説します。読者の皆さんからのご意見やご感想をもとにPDCAを回しながら、より良い誌面作りを目指して行きます。